

	千葉大学 人文科学分野
学部等の教育研究 組織の名称	文学部（第1年次：180名 第3年次：10名） 人文社会科学研究科（M：60名 D：18名）
沿 革	昭和24（1949）年 千葉大学、学芸学部 設置 昭和25（1950）年 学芸学部を改組し、文理学部を設置 昭和43（1968）年 文理学部を改組し、人文学部を設置 昭和56（1981）年 人文学部を改組し、文学部を設置 昭和60（1985）年 文学研究科 設置 平成7（1995）年 社会文化科学研究科 設置 平成18（2006）年 文学研究科、社会文化科学研究科等を改組し、人文社会科学研究科を設置
設置目的等	<p>昭和24（1949）年に、「一般教養」の中心的担い手としての役割を期待し、学芸学部が設置された。</p> <p>昭和25（1950）年に、学芸学部は東京医科歯科大学予科を包括し、文理学部に改組された。文理学部は、全学の「一般教養」を担当するとともに、学問の基礎研究部門としての学芸部の機能及び医学部・歯学部受験を目的とする学生の教育機能を継承する目的で設置された。</p> <p>昭和43（1968）年に、文理学部を改組し、人文科学、社会科学分野の細分化・専門化指向が強まったことと、18歳以上の人口増加による、学生急増に対処することを目的として、人文学部が設置された。</p> <p>昭和56（1981）年に、人文学部を改組し、研究教育をより学際的・総合的にすることを目的として、文学部が設置された。</p> <p>昭和60（1985）年に、研究者の養成とともに、専門的職業人の育成、留学生の積極的な受入れ等による、より高度な国際交流の充実、有能な教育者や各企業における職業人として活躍できる人材を養成すること等を目的として、文学研究科が設置された。</p> <p>平成7（1995）年に、日本研究、都市研究という現代社会の2つの重要な課題の考察と解明を目指すとともに、それを通して社会文化科学の研究者の養成、実務的人材の育成、社会人の再教育、留学生の教育等を行うことを目的として、社会文化科学研究科が設置された。</p> <p>平成18（2006）年に、地域に密着しながら世界に目を向けた人文・社会科学系の教育研究拠点を構築し、そこで培われた研究推進能力によって新たな可能性を切り開き未来社会に提言することのできる高度職業人や独創</p>

的な研究を推進することのできる研究者を養成すること等を目的として、人文社会科学研究科を設置した。

強みや特色、  
社会的な役割

**【総論】**

千葉大学における人文科学分野においては、真理の探究を図るとともに、我が国における人文科学分野の普遍的役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。

引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。

**【教育】**

(学部)

- 人文科学等の学問分野の教育研究を通じて、学生が専門分野に関する知識を習得するとともに、現代社会を生きる上で必要となる人文科学に隣接する分野への理解と幅広い教養、世界の多様な言語や文化への広い視野などを涵養する。
- このため、高度な専門性の涵養に対応した学科編成とする一方で、幅広い教養を涵養するために、文学部共通科目を多数開講している。また、14種の外国語・言語教育を通して、多言語・多文化教育を行っている。
- 今後、実践的なコミュニケーションを通じた、より高いレベルにおける国際性の涵養、並びに国際インターンシップの実践を通じた、キャリア教育の充実を目指す継続的なカリキュラム改革を推進し、外部への明示化に努めるとともに、全学的な教育改革方針の下で教育課程の体系化・可視化の作業を進めることで、卒業時に必要とされる資質や能力を可視化しつつ体系的な教育課程を編成するとともに、学生の能動的学習を促す組織的な教育体制の構築により、学士課程教育の質的転換に取り組む。

(大学院)

- 博士前期課程においては、人文科学のみならず社会科学も含む学際性に立脚した柔軟な思考と深い洞察、より高い専門的知識・技能の習得並びに先導的に他者と協働する能力を養成する。また博士後期課程においては、知識基盤社会を支える自立した指導的人材、研究者として必要な、自ら課題を設定し、自律的な研究を行うことができる能力、研究成果を学際的・国際的に発信できる能力を養成する。
- このため、段階的に専門性を深めていく順次的なカリキュラムの編成を重視し、同時に幅広い学際性、国際性を涵養すべく人文科学・社会科学の枠を超えて大学院学生全てに履修を奨励する共通科目群を設けている。

- 今後、ダブル・ディグリープログラムの導入等、グローバル化の時代に対応した体系的な教育課程の組織的な展開を強化し、人文的教養の幅広い修得と高度な専門性を両立させるために設定した、人材育成像ごとの履修モデルを平成 28 年度までに整備し、社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化する。また、浙江工商大学、南開大学（ともに中国）、ロシア人文大学（ロシア）などの海外の大学との連携を通じ、人文科学分野の教育の国際通用性を確保する。

#### 【研究】

- 史学、哲学・倫理学等における特に優れた研究実績をいかし、東アジア・ユーラシア研究、心理学・認知情報科学研究、史資料学・文献学研究、房総地域研究に強みを有している。
- これらの研究分野では、過去 10 年間の当大学人文科学分野における科学研究費補助金の新規採択件数の約 9 割を占めている。また、現職教員の学士院賞受賞のほか、当該学術領域において代表的な学会である日本中東学会や歴史学研究会等において中核的な役割を担っており、研究分野において高い評価を受けている。
- 今後、大学を挙げて心理学・認知情報科学研究、史資料学・文献学研究をさらにすすめる取組等を通じて、人文科学分野の研究を組織的に推進するとともに、我が国の社会の課題解決・文化の発展をけん引する。また、我が国の社会・文化に関する研究成果を国際的に広く発信する。

#### 【その他】

- 2010 年 4 月のスーダン総選挙に際して外務省から派遣された日本選挙監視団に、文学部所属の教員が参加した実績のほか、在日大使館における招聘講演など国内外政府機関等との連携に基づく社会貢献活動を行っている。
- 全学的な機能強化を図る観点から、18 歳人口の動態や社会ニーズを踏まえつつ、学部・大学院の教育課程及び組織のあり方、規模等の見直しに取り組む。
- 大学院の定員未充足及び入学辞退率の改善のため、魅力あるカリキュラムの再構築、定員規模の見直し等に取り組む。